

令和8年度 道徳教育 全体計画

学校 番号	81	松本筑摩 高等学校	午前午後 課程	普通 科
----------	----	--------------	---------	------

学校教育目標	
本校の教育は定通の和を尊び、理想の追求を象徴する校章と校歌に示された精神をもとに、	
1 知性の涵養	を目的とする
2 品性の陶冶	
3 心身の錬磨	
重点目標	
1 いじめや暴言・暴力を絶対に許さない安心・安全な学校をつくる	
2 社会人基礎力（特に挨拶できる力）を育てる	
3 生徒の力を引き出す「わかる授業・伸ばす指導」を工夫し、学力の定着・伸長を図る	
4 地域に開かれ、地域とつながる学校を作る	

道徳教育の重点目標	
1 基礎的な学力の定着やわかる授業を通して、学力を向上させ、自己実現を図る。	
2 ソーシャルスキルトレーニングなどを通してあいさつに始まるコミュニケーション力を伸ばし、一人ひとりの在り方や生き方を尊重する高い社会性を身につける。	
3 いじめや暴言・暴力は絶対に許されない安心・安全な学校において、一人ひとりの居場所があり、大切にされていると感じられるようになる。	

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等
1年	学校生活において、自律的な行動に努め、人間としてよりよく生きていくための基本になる態度を養い、自らの資質・能力を高める。	自己尊重の思考を身につけながら、自らの進路を切り開くために必要な情報を収集する。 ○マナー講座 ○ソーシャルスキルトレーニング ○校内外美化活動 ○基礎学力ドリル学習 ○文化祭	自立心を養うと共に集団において義務を果たし、責任を重んずる態度を身につける。 ○ソーシャルスキルトレーニング ○校内外美化活動 ○基礎学力ドリル学習 ○文化祭	生徒が互いに協力しながら、自分の役割を果たすことで、集団の活動がより良いものとなるよう努力しようとする力を養う。 部活動や文化祭に参加する。
2年	「他者を想像する心」を養い、人間としての在り方や生き方についての自覚を高めることで、他者と協働する態度と行動力を身につける。	自己尊重の思考を高めながら、キャリア意識を高める活動に取り組む。 ○ソーシャルスキルトレーニング ○体験学習 ○進路分野別ガイダンス・講演会 ○課題研究	校内の諸活動や研究を通して自己理解を深めるとともに、他者を尊重する態度を身につける。 ○ソーシャルスキルトレーニング ○校内外美化活動 ○基礎学力ドリル学習 ○文化祭	自主的、実践的に取り組むことを通じて、諸行事の目標実現に向かう姿勢を育む。 部活動に主体的に取り組む。 文化祭に積極的に参加する。
3年	主体的に行動し、社会の様々な課題に対して解決していこうとする資質・能力を養う。全ての人が尊重される社会の実現に係わる道徳的実践意欲を持つ。	将来を見据えて進路を切り拓けるよう、自己理解のための学びを深める。 ○体験学習 ○進路分野別ガイダンス・講演会 ○ソーシャルスキルトレーニング ○課題研究	社会へ出るための準備期間であることを自覚し、校内外の活動に主体的に取り組む姿勢を身につける。 ○ソーシャルスキルトレーニング ○校内外美化活動 ○思春期講座 ○就職向けドリル学習 ○文化祭	校内における中心的存在として主体的に行動し、率先して他者と協働する態度を身につける。 部活動の中心的存在としての自覚を養う。 文化祭、生徒会を運営する。
4年	社会の諸課題に対して主体的に解決しようとする資質・能力を伸ばし、全ての人が尊重される社会の実現に係る道徳的実践意欲と態度を涵養する。	多様な進路を目指し、自己実現を図るための資質・能力を養う。 ○オープンキャンパス・企業見学への参加 ○進路分野別ガイダンス・講演会 ○就職・進学講座	社会の構成員としての自覚を持ち、学校や地域社会の諸課題を主体的・意欲的に解決していく態度を養う。 ○校内外美化活動 ○思春期講座 ○文化祭	集団や社会に主体的に参画し、生活及び人間関係をより円滑にする態度を養う。 文化祭、生徒会を運営する。

各教科	
国語	言葉による見方・考え方を働かせ、自己の考えを見つめたり他者の考え方を知ったりすることを通して、道徳的心情を育む。
地理歴史	社会の実態を学び、自身と社会との関わりを意識することによって、社会の在り方や人間としての生き方について選択や判断する力を育む。
公民	持続可能な社会づくりという観点を学び、身近な地域課題から地球規模の課題までの諸問題について思いをめぐらす態度を育む。
数学	数学的な要素を含む学習活動を通して、数学的なものの見方や考え方を体験し、知的好奇心や粘り強く考える態度を養う。
理科	自然の事物・現象を探究する活動を通して、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度を育成する。
保健体育	他者を理解し、尊重することの大切さを学ぶために、心身の健康に関する知識と理解を高め、主体的に身体活動に参加する態度を育む。
芸術	作品の表情や個性を感受する力を高め、自らの感情もよく観察し、用具・器具の一つ一つを愛でる態度を養う中で、豊かな情操を培う。
外国語	外国語を通じて多様な文化に対する理解を深め、異なる意見や立場を尊重する態度を養う。
家庭	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。
情報	情報モラルに関わる課題に取り組む中で他者の事情を具体的に想像することから、人権教育へとつながる。
総合的な探究の時間	主体的・協働的な取り組みをとおして、新たな価値を創造し、主体的・意欲的に社会参加していく態度を養う。

家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・登校指導やあいさつ運動、地域の清掃などを通して地域社会との連携を深めながら生徒が主体的に社会に貢献しようとする態度を育成する。 ・家庭と連携し、親子で校内作業や文化祭に参加する機会を通して、生徒の自己と他者双方を尊重する心を育成し、よりよい社会の構成員としての自覚を高める。
-----------	---